

平成 30 年度 自己評価公表シート

認定こども園赤坂台幼稚園

1. 本園の教育目標

適切な環境のもと、知育・徳育・体育を中心に一人ひとりの発達や特性に応じ、調和のとれた、より豊かな人間性を育成する。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ① 園内外での研修に積極的に参加し、教育の資質向上に努める。
- ② 配慮を要する子どもの支援体制を確立し、個に応じた指導にあたる。
- ③ 食育への取り組みを強化する。
- ④ 日々、施設・設備・遊具の安全点検を実施し安全教育に努める。
- ⑤ 新たな子育て支援の強化を教職員一丸となって取り組んでいく。
- ⑥ 家庭との連携を強化し、幼児の健やかな成長を育むように努める。

3. 重点目標の取り組み状況と評価

<p>① 園内外での研修会に積極的に参加し、教育の資質向上に努める。</p>	<p>・府・市、私幼連で計画された研修会には積極的に参加し、園内でも報告会をもち、教育の資質向上に努めた。</p> <p>又、外部から領域毎に専門指導員を招き指導力の向上に努め、その成果を行事や保育参観で保護者にも発表できた。</p>
<p>② 配慮を要する子どもの支援体制を確立し、個に応じた指導にあたる。</p>	<p>・配慮を要する子どもについて、全職員が正しく理解するため、発達相談スタッフ（医者、心理士、発達相談コーディネーター）を決め研修に努めた。</p> <p>又、補助を必要とする子には、補助教員を配置し終礼等の報告連絡会の場を設定、キンダーカウンセラーのアドバイスも受けながら指導にあたることができた。</p> <p>・市教委の巡回相談にも申し込んで定期的に相談し、支援の確立に努めてきた。</p> <p>・外部の講師を招へいし、研修を重ね指導に生かすことができた。</p>

<p>③ 食育への取り組みを強化する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本園では、栄養士を配置し栄養面とからめて、子ども達が喜ぶ献立に工夫するとともに、衛生面には最善の注意を払って調理するように努めている。 又、アレルギー症の園児には、保護者と連携を密にし、除去食など個に配慮した調理を実施している。 ・年度末に「給食ランキング」と称し子供たちの投票による嗜好調査を行い食に対する関心を深めている。
<p>④ 日々施設・設備・遊具の安全点検と様々な災害等を想定した安全指導に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月11日を「安全点検の日」と位置付け、施設・設備・遊具の安全面を点検し、不測の事故を起こさないよう配慮している。 ・地震、火災を想定し、避難マニュアルに従って、毎月避難訓練を実施している。 ・不審者の侵入に備え防犯カメラを設置し、常に園内を巡回すると共に、通報システム、非常ベル等の操作利用訓練をし、安全管理に努めている。
<p>⑤ 新たな子育て支援の強化を教職員一丸となって取り組んでいく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月ごとに2回から3回の園庭開放をすると共に、就園前の幼児教室、1歳児のひよこ教室の親子教室を企画し地域に園庭や保育室を開放し、子育て支援に努めている。 ・キンダーカウンセラーによる悩みの相談会を実施。在園児の保護者だけでなく、地域の方の子育て支援にも努めている。
<p>⑥ 家庭との連携を強化する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学年始めには保護者との茶話会を開催し、学期末には個人懇談会の開催や、毎月1回の情報誌を発行し、家庭との連携を密にしながら保育に努めている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

自己点検表により重点目標について、教職員一人ひとりが共通の課題を認識し、課題解決に向けて取り組んでいる様子が随所に表れている。

また、先生方の熱心な保育の積み重ねにより、園児一人ひとりが生き生きと活躍し、楽しく園生活を送っている様子が拝見できる。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み
教育保育内容の再編成	<ul style="list-style-type: none">・新教育要領に沿った学年ごとのカリキュラムと行事などの指導内容を再検討、又 同時に指導方法を考える。・テーマ毎に指導講師を招き見識を深め教育の充実に努める。
園内研修	<ul style="list-style-type: none">・園内研修にて、指導内容の共通理解を深め指導力の向上とリーダー養成に努める。
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none">・配慮を要する子どもの情報を早期に発見、園児の個々に対応した指導計画を作成し、外部の専門機関とも連携を密にし専門的な講師の意見も参考にしながら個に応じた指導に努める。
安全指導	<ul style="list-style-type: none">・火災、地震時の避難訓練、交通安全訓練、不審者の声掛けなど安全についての意識を高める指導を強化する。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none">・預かり保育・園庭開放・未就園児の親子教室等の実施。また、育児相談など子育てに悩む母親を対象に支援活動を強化する。・子育て新法の趣旨を理解し、実践していく。
小学校との連携を図る	<ul style="list-style-type: none">・小幼保合同研修に参加し意見交換の場を設けるよう努める。・小学校を訪問し、見学、交流会などを通して進学への不安解消に努めるとともに小学校への段差の解消に努める。

6. 学校関係者の評価

- ・教職員一丸となって、一人ひとりの園児の個性を大切にされた教育が随所にうかがわれる。特に造形展・お遊戯会等の行事に対する保護者の評価も高い。
- ・子ども一人ひとりの目線に合わせて、きめ細かな指導に努めておられる
- ・どの行事も園児を中心に工夫され、保護者も子どもと共に楽しみにしている。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。